



予選レポート

2023/4/22 Rd-3 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：20℃ 出走台数：22台

新型車両 SF23 が導入された 2023 年全日本スーパーフォーミュラ選手権は、Rd1&Rd2 の 2 連戦で開幕した富士スピードウェイからわずか 2 週間で、Rd3 鈴鹿サーキットの予選を迎えた。鈴鹿 2&4 として全日本ロードレース選手権とともに開催される Rd3 鈴鹿サーキットは、土曜日に予選、日曜日に決勝の通常フォーマットで行われる。

ノックアウト第 1 予選、A 組の牧野選手は、予選開始すぐにユーズドタイヤでチェックランに向かい、残り 5 分でニュータイヤを履きコースに入った。牧野選手は慎重にタイヤを温め、2 計測周目にアタック。4 番手で第 2 予選へ進む。

第 1 予選 B 組の太田選手も、コースチェックの後ニュータイヤを履き、2 計測周目にアタックのプランでコースに入った。しかし、アタック前のウォームアップラップで、先行車との間合いが悪く、シケインで追いついてしまう。そこにアタック中のブリュックバシエ選手も追いついてしまい、太田選手は走路妨害のペナルティを課されることに。さらにアタック中のデグナーカーブでコースサイドにはみ出てしまったことが走路外走行とされ、アタックラップタイムは不採用となった。

牧野選手は第 2 予選に向けてセットアップを修正し、第 1 予選同様の 2 計測周目のアタックを行う。牧野選手は第 1、第 2 セクターで好タイムを記録するが、第 3 セクターでわずかにタイムロスし 6 位で予選を終えた。

*予選 5 位の宮田選手のペナルティ（走路外走行）に当該ラップタイム不採用の裁定が下ったため、牧野選手の予選順位は 5 位となった。

5：牧野任祐 選手 予選 5 位 (第 1 予選 A 組 4 位 第 2 予選 5 位)

富士開幕戦から大きくコンセプトを変えて臨みました。結果ポジティブな部分は大きくて、ただ まだまだトップとの差は大きくて、更なるトライが必要だと感じています。

明日の決勝もこのコンセプトを維持して臨みますので、継続して検証と開発を進め、鈴鹿戦はもちろん、今後につながるレースにしたいと思います。

6：太田格之進 選手 予選 21 位 (第 1 予選 B 組 10 位)

富士開幕戦後、チームとは長い時間をかけて分析し、自身の走りについてもセットアップについても改善を図って鈴鹿に来ました。フリー走行からフィーリングが良く、予選でも自信を持って臨みましたが、シケインで先行車に詰まり、後ろからアタック車も来てしまい、譲る形になって最終コーナーからの加速が鈍り、ペナルティも課されてしまい・・・しっかりとアタックできていれば、という思いです。

自分のポテンシャルを出し切れない予選となってしまいました。